

平成 28 年度 公益財団法人ふじのくに未来財団
事業報告書、附属明細書

～平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日～

公益目的事業 1

地域の社会課題解決のために必要な地域資源を循環させ、多様な主体参加と協働を推進する事業

(1) 寄付募集

※随時募集 ※一般（企業、団体、個人等）から広く寄付を募る。

ア. 寄付者が選択する「テーマ指定」への寄付募集

・社会課題解決型

子育て支援（計 613,600 円、1 件）

文化芸術スポーツ（計 10,000 円、1 件）

ベンチャー支援（計 13,000 円、2 件）

環境（計 50,000 円、1 件）

障害者スポーツ（計 50,800 円 1 件）

・冠基金（計 5,745,500 円、5 件）

静岡信用金庫せいしん地域未来基金（せいしん地域応援基金）（1,990,000 円）

静岡朝日テレビ静岡のチカラ基金（1,016,500 円）

静岡トヨタハイブリッド基金（2,739,000 円）

イ. 寄付者が選択する課題解決「団体支援」寄付募集（計 2,204,000 円、5 団体対象）

・静岡県遊技業協同組合と 1 個人より

NPO 法人静岡県災害支援隊（1,300,000 円）

・2 個人より

NPO 法人カレーズの会（計 501,000 円）

・2 法人より

NPO 未来クリエート 21（200,000 円）

・「小さな親切」運動静岡県本部より

NPO 法人静岡家庭教育サポート協会（200,000 円）

・1 個人より

COCORE（3,000 円）

ウ. 財団の公益事業運営支援への寄付募集

・財団運営管理基金

財団支援（計 657,066 円、10 件）

協賛寄付（計 188,477 円、gooddo 等）

エ. 「賛助会員」募集（計 316,480 円、23 件）

(2) 寄付研修及び啓発

※多様な寄付の方法、ツールを紹介し、寄付による社会貢献への参加を啓発すると共に、NPO 等にとっては資金調達としての寄付集めの方法を学ぶ。

ア. 2016 ファンドレイジング大会振りかえり情報共有研修開催

- ・平成 28 年 4 月 2 日 13:30~15:30 11 名参加

イ. 遺贈についての意見交換会開催

- ・平成 28 年 10 月 3 日 13:30~15:30 13 名参加

静岡県司法書士会 業務研究委員会、公認会計士、民生委員、NPO 等

ウ. 「募金箱」「寄付付き自販機」「寄付付き商品」等の開発・販売支援

- ・寄付付き商品を締結及び継続中のもの

企業名	商品
静岡トヨタ自動車(株)	ハイブリッド車種 21 車種
静岡信用金庫	せいしん地域応援定期預金、地域未来定期預金
シーラック(株)	バリ勝男くん(食料品)
シーラック(株) ホテイフーズコーポレーション	富士の種(食料品)
シーラックパル	(ビジネスホテル) リネン未交換による寄付

- ・バリューボックス「ぼぼん(古本寄付)」

静岡県職員組合事務所、ふじのくに NPO 活動センター(東・中・西)

静岡朝日テレビ、静岡信用金庫、静岡県労働金庫労働組合

静岡県議会事務所等 30 ヶ所以上に古本回収箱を設置

- ・コカ・コーライーストジャパン(株)の寄付付き自販機 3 台を設置
- ・使い損じハガキの寄贈受付(企業、個人)

エ. 寄付者の情報管理

- ・Salesforce 導入のための初級、中級研修

平成 29 年 3 月 28 日、29 日 B-nest 7 階演習室 11 名参加

(3) 活動助成事業(公募)

※テーマに沿った事業について、必要資金の全部又は一部を助成する。

事業実施期間:平成 28 年度

ア. 冠基金助成事業(助成決定事業)

【せいしん地域未来(応援)基金】静岡信用金庫による寄付を原資として助成

基金名・寄付者	事業名	団体名	助成決定額	当年度助成額	事業期間
静岡信用金庫	子ども食堂	ゆずのひ	648,000	0	H28.4.1~ H29.3.31
	障がい児の兄弟姉妹のための「心をひらける場」づくり事業	静岡市清水手をつなぐ育成会	209,200	209,200	H28.4.1~ H29.3.31
	シャッフルハウス設立事業	NPO法人泉の会	1,000,000	1,000,000	H28.5.1~ H29.3.31
	地域市民による道路清掃&景観美化運動	NPO法人丸子まちづくり協議会	290,000	290,000	H29.1.1~ H29.3.31
	”がんばるタイの子供たち”応援事業	NPO法人タイ王国教育支援組織SHIDA	286,300	286,300	H29.1.1~ H29.12.31
			2,433,500	1,785,500	

【静岡トヨタハイブリッド基金】静岡トヨタ自動車（株）の寄付を原資として助成

基金名・寄付者	事業名	団体名	助成決定額	当年度助成額	事業期間	
静岡トヨタ自動車ハイブリッド基金	防災	大規模災害時の福祉避難所開設に備え、施設内環境チェックと障がい児者の体験宿泊事業	NPO法人 フリースペース・うえるびー	184,400	184,400	H28.7.1～ H28.12.20
	福祉	みんなでとりくむ福祉防災プロジェクト～障がい者からのお願い「大地震（大災害）の時、助けてください！」～	cocore	221,120	221,120	H28.6.1～ H29.3.31
		地域で育ちあう力を育むプロジェクト	子育て支援サークルほっと	326,880	326,880	H29.1.15～ H30.3.31
	環境	盆栽と楽しむ園芸療法～盆栽の里親を見つけた！	NPO法人樹木いきいきプロジェクト	548,000	548,000	H29.1.1～ H29.8.31
	交通安全	伊豆半島を「思いやり1.5m運動」で「シェア・ザ・ロード」	一社）伊豆観光圏活性化協会	548,000	300,000	H29.1.27～ H29.6.30
			1,828,400	1,580,400		

【静岡朝日テレビ静岡のチカラ基金】静岡朝日テレビの寄付を原資として助成

基金名・寄付者	事業名	団体名	助成決定額	当年度助成額	事業期間
静岡朝日テレビ 静岡のチカラ基金	植物を科学的に考える子供を育てる「植物×MESH」	NPO法人 樹木いきいきプロジェクト	400,000	400,000	H28.5.1～ H29.3.31
	高校生のための、静岡県の生きた大学案内（「ハイスクール静岡時代」発行事業）	NPO法人静岡時代	400,000	400,000	H28.5.1～ H29.3.31
			800,000	800,000	

イ. テーマ指定助成事業

【子育て支援事業】静岡県労働金庫、静岡節会、個人1名による寄付を原資として助成

基金名・寄付者	事業名	団体名	助成決定額	当年度助成額	事業期間	
テーマ	子育て支援	産前産後ケアサポーター養成事業	浜松の未来を育てる会	336,000	336,000	H28.7.1～ H29.3.31
		「子供たちのネット依存に関する現状調査及び報告相談会開催」事業	NPO法人静岡ICT教育21	178,000	178,000	H28.7.1～ H29.3.31
			514,000	514,000		

ウ. 団体指定助成事業・団体を指定して助成

基金名・寄付者	事業名	団体名	助成決定額	当年度助成額	事業期間
団体支援	学校・公園のシンボルツリーを守ろう！プロジェクト	NPO法人樹木いきいきプロジェクト	270,000	0	H28.4.1～ H29.3.31
	「小さな親切」運動静岡県本部 デートDV予防啓発のための支援者養成講座	NPO法人 SafetyFirst静岡	180,000	0	H28.7.1～ H28.12.20
	静岡県遊技業協同組合 熊本に災害用トイレを2000台送るプロジェクト	NPO法人静岡県災害支援隊	900,000	900,000	H28.4.22～ H28.7.29
	自主 アフガニスタンの妊婦さんに安心・安全な【夜間の出産】を届けよう！	NPO法人カレーズの会	468,900	468,900	H29.4.1～ H30.3.31
			1,818,900	1,368,900	

(4) セミナー、人材育成等

ア. 「セミナー」「ワークショップ」等の開催

- ・CSR検定3級、2級（オルタナ主催 静岡会場運営）
平成28年10月30日 静岡市番町市民活動センター
3級受験者 9名、2級受験者 7名
平成29年3月16日 静岡市番町市民活動センター
CSR3級勉強会
- ・CSRサミット（CSRサミット実行委員会主催：実行委員会メンバー）
平成28年11月18日（14:10～18:30）開催、静岡市産学交流センターB-nest
分科会「企業とNPOの協働」は16:50～17:50開催。
参加者 全体：130名 分科会（企業とNPOの協働）：24名

イ. 人材育成事業

- ・静岡県ハイスクール ボランティアアワード開催（FNC業務内）
目的：静岡県内の高校生の自発的な社会貢献活動を推進し、高校生を含めた若者がより積極的に社会貢献活動に参加できる社会環境の醸成
最終審査会&表彰式 平成28年12月23日開催、グランシップ910会議室
参加者 90名（発表者、引率者含む）
後援：静岡県教育委員会、静岡県私学協会
協賛：シーラック株式会社、コカ・コーライーストジャパン株式会社

イ. ファンドレイジング支援

- ・ファンドレイジング応援イベント「まちを動かす共感力」（FNC業務内）
平成28年11月5日 静岡市番町市民活動センター
参加者：33名（認定・特例認定NPO法人、一般、行政等）
- ・寄付月間2016への参加
- ・ドネーションパーティー開催
平成28年12月15日 19:00～21:00、
ホテルセンチュリー静岡4階クリスタルルーム（静岡市駿河区南町18-1）
参加者他：申込74人・当日出席72人（欠席2人）
- ・ファンドレイジング大会2017参加

(5) コンサルティング事業

ア. プロボノ・専門家等募集・登録の仕組み等を構築

- ・司法書士、公認会計士、社会労務士による相談

イ. 中間支援及びNPO基盤整備・コンサルティング等

- ・NPOコンサルティングの実施（FNC業務内）
会計講座（4月20日、5月16日、10月15日、3月24日）
労務講座（9月10日）

ウ. CSRコンサルティング

- ・企業のCSR相談（FNC業務内）

（6）社会課題とその解決に関する調査研究事業

- ア. 地域課題とそのニーズに関する勉強会等の開催
 - ・協働コーディネーター会議の開催（FNC業務内）
平成29年1月23日
- イ. 実地取材・ヒヤリング等によるニーズ把握
 - ・出張NPO相談、講座等におけるヒヤリングによるニーズ把握（FNC業務内）
- ウ. 課題把握の仕組みづくり（ネットワーク化）等
 - ・自由民主党NPO活動支援議員連盟との意見交換会開催
平成28年10月13日 議員連盟役員（会長、副会長、事務局）との会合
平成29年3月1日 議員連盟総会における説明

（7）社会課題とその解決に関する情報収集及び情報発信事業

- ア. 未来財団に関する「説明会」等の開催
 - ・講座等においてミニ説明を実施
 - ・静岡朝日テレビ静岡のチカラプロジェクト特別番組（平成28年12月24日放映）
「春風亭昇太のふじのくに明日へのチカラ」当財団を紹介
→ ファンドレイジング大会2017での寄付月間大賞メディア賞受賞
- イ. ホームページでの情報発信、月1回のメールマガジン、SNSによる随時情報発信
 - ・ホームページのリニューアル（スマホ対応）
- ウ. 公益財団法人用「リーフレット」作成
 - ・ぼぼんポスター新デザイン A2サイズ100枚
 - ・平成27年度活動報告書作成 2,000部
 - ・企業向リーフレット作成 2,000部

※ 関係機関等へ配布、配架依頼、講座での配布

（8）行政・企業・NPO等との協働事業

- ア. ヒヤリング・取材対応等
 - ・寄付贈呈式、イベント等のプレスリリースの実施
 - ・メディア掲載

日付	内容	媒体	
平成28年/4/19	静岡トヨタが273万円を寄付	静岡新聞	
平成28年/4/19		静岡ビジネスレポート	
平成28年/5/20	県遊技業協組、熊本地震支援に100万円寄付	テレビ静岡	
平成28年/5/21		静岡新聞	
平成28年/6/12		静岡朝日テレビ	
平成28年/6/15	ふじのくにソーシャルビジネスセミナー開催告知	中日新聞	
平成28年/9/17	静岡信用金庫がふじのくに未来財団に97万円寄付	静岡新聞	
平成28年/9/17		静岡新聞	
平成28年/10/5		静岡ビジネスレポート	
平成28年/10/5		静岡朝日テレビ	
平成28年/10/5		静岡リビング	
平成28年/11/25		静岡県遊技業協同組合がふじのくに未来財団に支援寄附贈呈式	テレビ静岡
平成28年/11/26		静岡新聞	
平成28年/12/18	ふじのくに未来財団助成事業「こども食堂」放映	静岡朝日テレビ	
平成28年/12/24	静岡朝日テレビ番組「明日へのチカラ」放送	静岡朝日テレビ	
平成29年1/6	ソーシャルビジネス資金相談会開催	静岡新聞	
平成29年3/3	静岡信用金庫がふじのくに未来財団に102万円寄付	静岡新聞	

イ. 講師、委員派遣等

- ・焼津市市民公益活動事業補助金審査員
- ・藤枝市まちづくり総合事業補助金選考委員
- ・御殿場市市民活動支援センター講座講師（「NPO 活動の資金確保」）
- ・掛川市協働まちづくり発表会コメンテーター
- ・静岡市清水区指定管理事業の評価及び審査委員
- ・沼津市民間支援まちづくりファンドアドバイザー
- ・静岡市CSR企業表彰専門委員会委員

ウ. ふじのくに NPO 活動センター運営（静岡県くらし・環境部県民生活課協働推進班より受託）

- ・別紙参照

エ. ふじのくにソーシャルビジネス支援ネットワーク

- ・静岡県、静岡信用金庫の加入
- ・社会起業家向け法人設立・資金調達セミナー開催
平成28年 7月12日 13:00～16:00（沼津市） 19名参加
7月20日 13:00～16:00（静岡市） 20名参加
7月27日 13:00～16:00（浜松市） 18名参加
- ・ソーシャルビジネス資金相談会 in 静岡（平成29年1月17日） 3団体相談

オ. 高齢者消費者被害防止広報キャンペーン

カ. 一社）全国コミュニティ財団協会会員（平成28年6月～）

研修（7/19 東京、9/13 京都、12/7 名古屋、1/16 千葉）

全体会議：平成29年3月20日 全国町村会館（東京）

一社）全国レガシーギフト協会加盟団体

- ・全国レガシーギフト協会設立総会及び記念シンポジウム参加

平成28年 11月14日 10:00～16:00 笹川平和財団ビル 11F 国際会議場

(9) 組織に関する事項

ア. 評議委員会

- ①平成28年5月27日 平成28年度第1回定時評議委員会

第1号議案 平成28年度貸借対照表、正味財産増減計算書、及び財産目録等会計書類承認の件

第2号議案 評議員1名、監事1名選任の件

第3号議案 任期満了に伴う理事12名選任の件

以上原案通り承認

②平成28年8月5日 平成28年度第2回書面評議員会

第1号議案 定款第5条変更の件

以上原案通り承認

イ. 理事会

①平成28年5月12日 平成28年度第1回理事会

第1号議案 平成27年度事業報告及び決算の承認に関する件

第2号議案 定時評議員会の招集の決定

以上原案通り承認

報告事項

代表理事・業務執行理事の職務の執行の状況の報告

②平成28年6月14日 平成28年度第2回書面理事会

第1号議案 代表理事、副代表理事の選定

以上原案通り承認

③平成28年7月19日 平成28年度第3回理事会

第1号議案 第2回書面評議員会の招集の決定

第2号議案 「役員等候補選出委員会規則」制定及び「委員会設置規程」改訂の件

第3号議案 記念事業実施について

以上原案通り承認

報告事項

代表理事・業務執行理事の職務の執行の状況の報告

④平成28年9月16日 平成28年度第4回理事会

第1号議案 規約等承認、改訂について

以上原案通り承認

報告事項

代表理事・業務執行理事の職務の執行の状況の報告

⑤平成28年11月17日 平成28年度第5回理事会

第1号議案 規約等承認、改訂について

以上原案通り承認

報告事項

代表理事・業務執行理事の職務の執行の状況の報告

⑥平成29年2月28日 平成28年度第6回理事会

第1号議案 平成29年度事業計画案及び収支予算計画案承認の件

以上原案通り承認

報告事項

代表理事・業務執行理事の職務の執行の状況の報告

平成 28 年度ふじのくに NPO 活動センター活動 報告書

平成 28 年度ふじのくに NPO 活動センター活動報告書

(1) NPO、社会貢献活動に関する相談事業

- (1) NPO、社会貢献活動に関すること
- (2) 特定非営利活動促進関係法令に関すること
- (3) 協働に関すること

NPO・社会貢献に関する相談対応

NPO 法人や任意団体からの相談・問合せは 350 件、法人設立については 91 件。
設立以外の相談では資金調達に関する相談が 1 番多く、事業報告書や役員変更など事務手続きに関する問合せも多く寄せられた。

(4) 出張相談会の実施

出張相談会

(※年度当初に管内市町担当課に出張相談のニーズを確認した結果、連携実施を希望したのは島田市のみであった)

- ・ 7/25(木) NPO 出張相談会@島田市
会場：島田市市民活動室(歩歩路) (相談 4 件)
- ・ 8/3(水) NPO 出張相談会@藤枝市
会場：ふじえだ市民活動センター (相談 4 件)

総括 (成果と課題)

NPO からの相談については、少し調べればわかるような事務手続きについての問合せが依然多く寄せられた。高齢な方や事務経験がない方が事務担当になることも多く、事務の手引きの簡易版のようなものがあると改善が期待できる。またボランティア活動を事業型 NPO に変えたいといった相談も寄せられたが、事業開発や経営についての当センターの支援には限界があり、金融機関や産業支援センターなどとの連携をさらにはかる必要性を感じた。

添付資料：

- ・ 月別相談件数
- ・ 相談曜日時間帯累計

(2) NPO 活動の支援

(1) NPO 団体の自立に向けた個別コンサルティング (6 団体)

NPO 個別コンサルティング実施

- ・ NPO 法人 SHIDA (認定 NPO 法人化)
→3/24 認定取得。
- ・ ゆずのひ (子ども食堂事業の確立)
→1 月より代表者体調不良により支援計画進捗停止。
- ・ NPO 法人フリースペースうえるびー (仮認定から認定へ移行)
→3 月に認定申請書類提出済み
- ・ NPO 法人 ICT 教育 21 (法人運営基盤の確立)
→学校や NPO と多様な連携を進められたが助成金依存。活動資金確保が課題
- ・ かいらハウス (団体運営基盤の強化)
→会計プログラムを導入し会計の改善を図ったが、複式簿記等の理解不足が露呈。
- ・ NPO 法人精神保健福祉焼津心愛会 (会計の整備)
→団体合併による 2 本立て会計を、会計プログラムを導入し 1 本化し不備解消。

(2) 団体運営マネジメント支援 (財務会計・経営管理)

NPO 経営力強化研修プログラム実施と効果検証

- ・ 4/20(水) ①会計グループ研修
講師：戸谷雄一公認会計士
(参加 4 団体 5 名)
- ・ 7/16(土) ②会計基礎研修
講師：戸谷雄一公認会計士
(参加 5 団体 9 名)
- ・ 9/10(土) ③NPO の労務管理
講師：鈴木絵里社会保険労務士
(参加 11 団体 13 名)
- ・ 10/15(土) ④会計基礎研修@藤枝
講師：戸谷雄一公認会計士
(参加 7 団体 9 名)
- ・ 3/24(金) ⑤会計決算サポート
講師：戸谷雄一公認会計士
(参加 2 団体 4 名 他 7 団体は別日程で個別サポート)

平成 28 年度ふじのくに NPO 活動センター活動報告書

(3) 新規設立法人を対象とした法人運営支援（NPO法に関する説明、他）

NPO法人初級者講習会開催

（※講習会参加希望の新規設立法人はなく、相談等で個別対応した）

- ・ 6/3(金) NPO 法人わかものまちな静岡（NPO 相談で設立登記の方法について説明）
- ・ 7/28(木) NPO 法人 ICT 教育 21（認証後の事務手続きスケジュールについて説明）

(4) 認定仮認定NPO法人を対象とした広報等支援（広報支援・ネットワーク構築）

認定・仮認定NPO法人PRイベント開催

11/5(木) 認定・仮認定NPO法人ファンドレイジング応援イベント

「まちを動かす共感力」開催

活動発表：県中部の認定・仮認定 NPO 法人（7 法人）

寄付ツール講座（遺贈について） 講師：芝知美司法書士

（信託について） 講師：プレデンシャル生命保険

（参加 33 名）

- ・ 4/26(火) 認定 NPO 法人丸子まちづくり協議会のイベントを FNC の SNS で広報
- ・ 2/28(火) 認定 NPO 法人しずおか環境教育研究会のイベントを FNC の SNS で広報

総括（成果と課題）

個別コンサルティングや経営力強化研修プログラムによる継続サポートは団体の課題を解消し結果を出すために有効であったが、団体側の意欲と時間確保により成果が左右された。会計については団体の事業内容ごとに整備が必要なため講座にプラスして個別サポートが必要であった。認定NPO法人を増やすためには認定取得した法人にそのメリットを語ってもらうのが早いですが、PRイベントでは寄附者が増えたという声は残念ながら聞けなかった。今後は一般市民にも認定NPO法人の存在を知らしめることが必要である。

添付資料：

- ・ 個別コンサルティング実施結果（6 団体）
- ・ NPO 経営力強化研修プログラム実施報告書（全 5 回）
- ・ 認定仮認定 NPO 法人ファンドレイジング応援イベント実施報告書

(3) 多様な主体による協働推進

(1) 多様な主体の協働マッチング推進

企業からの相談・問合せ：35 件

CSR・社会貢献活動についてや、NPO 法人設立に向けての相談など

- ・ジブラルタ生命株式会社 × ゆずのひ（子育て支援団体）のマッチング
→8/11 こども食堂内のイベントとしてお金の使い方講座を開催
- ・10/11(火) 新 CSR 検定第 4 回 3 級試験向け公式勉強会開催（参加者 5 名）
- ・3/16(木) 新 CSR 検定第 5 回 3 級試験向け公式勉強会開催（参加者 7 名）

(2) 協働コーディネーターの発掘

- ・協働コーディネーターの発掘 調査件数 8 件

(3) 協働先進事例の情報収集

- ・協働先進事例の情報収集 収集件数 8 件

(4) 協働先進事例発表会の開催

地域コーディネータ会議の開催

- ・1/23(月)協働先進事例発表会「地域コーディネータ会議」開催
発表事例（コーディネーター）
 - ①しみず元気プロジェクト（NPO サポートしみず 磯谷千代美さん）
 - ②こどもわくワーク（クロスメディアしまだ 児玉絵美さん）
 - ③藤枝おんぱく（SACLABO 渡村マイさん）
 - ④フードバンク（フードバンクふじのくに 鈴木和樹さん）
（参加 行政、NPO、中間支援、政治家、学生等 29 名）

平成 28 年度ふじのくに NPO 活動センター活動報告書

CSR サミット内での企業と NPO による協働事例紹介

- ・ 4/5(火) 第 1 回 CSR サミット準備委員会打合せ (顔合わせ)
- ・ 5/20(金) 第 2 回 CSR サミット準備委員会打合せ (イベント内容検討)
- ・ 6/30(金) 第 3 回 CSR サミット準備委員会打合せ (日程、分科会テーマ決定)
- ・ 7/4(金) 第 4 回 CSR サミット準備委員会打合せ (広報方法の検討)
- ・ 9/23(金) 第 5 回 CSR サミット準備委員会打合せ
(プレイベント CSR シンポジウムを開催し広報活動)
- ・ 11/18(金) ふじのくに CSR サミット開催
分科会「企業と NPO の協働」事例発表
(参加 サミット全体 130 名、企業と NPO の協働分科会 24 名)

総括 (成果と課題)

協働事例調査や地域コーディネータ会議を通じて、地域課題を多様な主体による協働で解決する困難さを再認した。協働事業の事務局かつプロデューサー的役割を担う人材の有無が成果は大きく左右される。NPO を中心とした協働を推進するためには、NPO が自ら信頼性や事業性を見える化した上で、協働相手に働きかけていくことが求められている。

添付資料：

- ・ 協働マッチング事例 報告書
- ・ 協働事例調査報告書 (8 事例)
- ・ 地域コーディネータ会議実施報告書
- ・ ふじのくに CSR サミット「企業と NPO の協働」分科会実施報告書

(4) 中間支援機能の強化

(1) 市町及び市民活動センターとのネットワークの構築

【市町行政】

- 4/19 (火) 島田市協働推進課 電話ヒアリング
- 4/20 (水) 焼津市市民協働課 訪問ヒアリング
- 5/18 (水) 県内市民活動担当課課長会議に参加
- 5/27 (木) 島田市協働推進課 訪問 出張相談会開催について打合せ
- 6/27 (月) 牧之原市地域創生課 訪問ヒアリング
- 6/27 (月) 吉田町企画課 訪問ヒアリング

市町行政からの相談・問合せ：13 件

【市民活動センター】

- 4/5(火) 静岡市番町市民活動センター 訪問・意見交換
- 4/20 (水) 焼津市市民活動交流センター 訪問・意見交換
- 4/23 (金) 静岡市清水市民活動センター 訪問・意見交換
- 5/19 (木) ふじえだ市民活動センター訪問・意見交換
- 7/1 (金) 県内市町センター会議に参加 (主催：静岡県労働者福祉基金協会)
- 7/15(火) 静岡市番町市民活動センター 訪問・共催イベント実施について打合せ
- 12/26 (月) 県内中間支援情報交換会に参加 (主催：静岡県社会福祉協議会)

【民間中間支援】

- 7/25(月) NPO 法人クロスメディアしまだ訪問・相談事例共有

- ・県内中間支援従事者ネットワークのメーリングリストで情報共有
(メーリングリスト登録者：51 センター・団体・個人)

(2) 「FNCのあり方について」意見交換会の実施

「FNCのあり方について」の意見交換会の運営

- ・7/1(金) FNC の機能強化を考えるワークショップ開催@FNC
(参加 市町担当課 16 名、中間支援 13 名、県民生活課 7 名、FNC9 名)

平成 28 年度ふじのくに NPO 活動センター活動報告書

(3) 中間支援力向上支援

市町の間接支援組織に対するハンズオン支援の実施

- ・ 4/20(水) 焼津市市民活動交流センターの NPO 相談に同席支援
- ・ 8/3(水) ふじえだ市民活動センター運営の会メンバーが出張相談に同席支援
- ・ 10/3(月) 静岡市番町市民活動センター、清水市民活動センターのスタッフが遺贈についての情報交換会に参加し先進事例やノウハウを共有
- ・ 11/5(土) 認定 NPO 法人応援イベントを静岡市番町市民活動センターと共催

- ・ 3/28,29 中間支援者向けセールスフォース研修 (初級・中級)
(参加 11 名)

総括 (成果と課題)

事業共催や出張相談会などで市町や市町センターと連携した支援が実施できた。静岡市と焼津市以外の市町には中間支援人材がおらず、その地域の間接支援力向上をどのように進めていくかは大きな課題である。

添付資料 :

- ・ 中間支援向けセールスフォース導入研修実施報告書

平成 28 年度ふじのくに NPO 活動センター活動報告書

(5) NPO、社会貢献活動に関する啓発事業

(1) 県内外のNPO、社会貢献活動の情報収集

(2) 県ホームページ「ふじのくにNPO」、SNS等を活用した情報提供

NPO・社会貢献活動の情報収集と発信

情報発信は県内NPOと県民をターゲットに設定し、機動性と拡散性に利がある Twitter、Facebook といった SNS ツールを主に活用した。

助成金情報はアーカイブされるブログで発信し、利用者の利便性を高めた。

[Facebook のいいね数：651 (H.28.3 末) →687 (H.29.3 末)]

(3) 若年層への啓発

高校生ボランティア・社会貢献アワードの開催

- ・静岡県ハイスクールボランティアアワード

9/1(木) 開催&エントリー募集 広報開始

9/15(木)～10/28 エントリー受付 (エントリー7組、高校生実行委員3名)

11/14(木) 高校生実行委員打合せ

12/23(金・祝)アワード(最終審査&表彰式)開催@グランシップ (来場者90名)

中高生向け社会貢献出前講座の実施

県政出前講座の申込みがなく、実施実績なし。

- ・5/17(木) 認定NPO法人ADRA Japan スタッフの帰国報告会

「NPOを知ろう！～エチオピアにおける南スーダン難民支援の現場から」開催

(参加 16名)

(4) 多様な寄附手法や支援ツールの啓発及び研究事業

県内遺贈寄附キャンペーンの実施

10/3(月) 遺贈についての情報交換会

情報提供者：静岡県司法書士会業務研究委員 (参加 13名)

- ・4/2(木) ファンドレイジング日本2016参加報告会 (参加 10名)

・7/19(木) 全国コミュニティ財団協会の研修に参加し遺贈寄附の事例収集

・11/30(水) 土業向け遺贈寄附アドバイザー研修に参加

・3/18,19 ファンドレイジング日本2017に参加

平成 28 年度ふじのくに NPO 活動センター活動報告書

総括（成果と課題）

高校生の社会貢献活動を表彰する取組みは初開催であったが、事例発表された活動はどれも地域貢献度が高く、それらの取組を当日の参加者や新聞掲載により広く知ってもらう機会となり、若者の参加啓発としては効果がある取組みであったと考えられる。次年度から仕様変更でセンター事業としては実施できないが、県教育委員会などと連携した県事業として是非継続開催させていただきたい。

添付資料：

- ・平成 28 年度月別情報発信実績集計表
- ・ハイスクールボランティアアワード実施報告書
- ・ADRA Japan スタッフ帰国報告会実施報告書
- ・遺贈についての情報交換会実施報告
- ・ファンドレイジング日本 2016 参加報告会実施報告書

平成 28 年度ふじのくに NPO 活動センター活動報告書

(6) NPO 法人閲覧書類公開業務

- (1) 閲覧及び謄写請求への対応
- (2) 閲覧書類の管理
- (3) 閲覧書類のデータ化と県ホームページ「ふじのくにNPO」での公開業務
- (4) 権限移譲市引継書類の複写

NPO 法人が提出する公開書類を PDF 化し県のホームページで公開するとともに、FNC 内で閲覧できるようファイルを随時更新した。

- ・ FNC 内での閲覧件数： 14 件

(7) その他の業務

- (1) 管内の NPO 活動の状況把握と課題抽出

市町訪問時や相談時に随時実施。

- (2) 3 センター業務調整及び連絡会議の実施

4/13(水) @ふじのくに NPO 活動センター /28 年度事業内容、報告様式の確認等

7/1(金) @ふじのくに NPO 活動センター /情報共有&センターあり方 WS 打合せ

10/17(月) @ふじのくに NPO 活動センター/パートナーシップ委員会傍聴意見書作成

11/15(火) @県庁会議室 /次年度の県センター運営について

- (3) その他、NPO の自立や活動の拡大のために必要な業務

- ・ 8/25,9/28,9/29 生活困窮者の就労支援活動をしている NPO からインターンを受入
- ・ 9/11(日) 県協働事業レビューに参加
- ・ 9/30(金) ふじのくに 邑づくり研修会 (中部) に参加 (主催: 静岡県農地保全課)
- ・ 11/4,12/9,1/20 協働の底力中部地域部会に参加 (主催: 静岡県交通基盤部)
- ・ 2/3,2/9,2/21 NPO 法改正説明会に同席
- ・ 3/27(月) 大学生による社会提言発表会参加 (主催: 静岡県労働者福祉基金協会)

総括 (成果と課題)

他の業務に追われ、管内の NPO 活動を新たに知る機会を作ることができなかった。市町と連携して団体交流会などを開催するなどし地域の新たな動きや課題をキャッチアップする施策が必要であった。

添付資料:

- ・ パートナーシップ委員会傍聴意見書

平成 28 年度ふじのくに NPO 活動センター活動報告書

(8) 施設管理運営業務

ア 受付案内、電話対応等

イ ふじのくにNPO活動センター内の施設管理

総括（成果と課題）

設置目的では活動場所の提供はセンターの役割でないとされているが、利用者数の 94%が会議スペースの利用者であった。施設としてのセンターのあり方についても見直しが必要な状況である。

添付資料： 平成 28 年度月別来館者集計表